

すくわくプログラム推進事業実践報告書 2025年10月

所在地	東京都新宿区戸山1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・手洗いの効果を見てみよう（カビの観察）

<テーマの設定理由>

- ・子どもたちが、普段行っている手洗いの効果を実体験できるように実験を行う。

2. 活動スケジュール

午後おやつ前の時間に、以下条件のパンを用意し、4日後にカビの付着の様子を調べる。

- A.買ってきたそのままのパン
- B.実験協力隊9名が、手を洗って触ったパン
- C.実験協力隊9名が、手を洗う前に触ったパン
- D.わくわくみんなで、手を洗う前に触ったパン

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・食パン ・iPad ・マイクロスコープ（きつつ）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・食パンにいろいろな条件の手を付けて、カビの生える様子を写真やマイクロスコープで観察する。
- ・タイムラプス機能を使って、カビの生える様子を観察してみる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・用意したパンに手を付けて実験をすることを説明し、実際に行ってみると「なにこれ、たのしい〜」や「本当にばい菌いるの?」と言いながら行っていた。
- ・そして4日後のパンの様子を、子どもたちと一緒に観察を行う。手を洗う前に触ったパンは、手のばい菌を栄養にして、カビが沢山増えていることがわかり、顕微鏡で見ると、子どもたちは驚いて「もっと手を洗う!」と、石鹸で手を洗う大切さを再確認していた。

活動が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 手を洗う前と後で、見た目の変化はないが、パンを使うことによって手洗いの効果を見える化することができた。
- 実験前は手洗いを面倒くさがる子ども、率先して手洗いをするようになった。
- ライムラプスでカビが増える様子を撮影しようとしたが、途中で止まってしまったため次回は何か方法を考えると良い。
- マイクロスコープを使ってカビをみると、驚く子や興味津々な子など、それぞれの反応が見られて良かった。